

いつも健康であるための地域医療情報誌

観光町

メディカル通信

Vol.29
2020.6

発行 / 医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック 高松市観光町649-8 TEL087-839-9620(代) FAX087-861-7079
ホームページ <https://www.olive.clinic/>



当クリニック連絡先

〈内科 受付〉087-839-9620
〈ドック・健診〉087-839-9630

ドック
診断 受付
外来受付

新型コロナウイルス感染予防対策継続中

令和2年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、全世界が異例の日常を経験する日々なかで、わが国では不安を感じながら新しい生活が始まった方も多いのではないのでしょうか。

当施設でも、ドック・健診の予約が増えてきています。平成17年に四国で初めて人間ドック健診施設機能評価の認定を受けて以来、5年ごとの更新の審査を受け、今年2月には3回目の更新受審を受けました。5月23日に更新認定を受けることも出来ました(詳細は3ページ目)。

今年度から高齢者の健康状態のチェックとして「フレイル・サルコペニア健診」、その中で以前から重視してきた骨粗鬆症対策として「骨ドック」と新たなオプション検査を準備いたしました。是非一度検査を受けてください(詳細は5ページ目)。

乳がん検診については、従来通り検診マンモグラフィ撮影認定、乳腺超音波認定を受けた女性技師が担当し、検診マンモグラフィ読影認定医師が読影、診断を行っています。

腹部超音波検査(腹部エコー)については、全国労働衛生団体連合会の実施する精度管理調査に参加し3年連続のA評価を頂きました(詳細は4ページ目)。

このように継続的に充実させてきた人間ドック・健診ですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令を受け、受診者の皆様、スタッフの安全配慮のため、約2週間休止させていただくこととなりました。しかしながら、がんや心臓、脳血管病変などをいち早く発見し、治療に結びつけることはもちろん、何よりも発症を予防することは、決して不要不急ではありません。「私は大丈夫」とは思っていますが、誰も自分では気づかない病気や、その兆しを持っているかもしれない。ご自身の健康チェックをおろそかにされないようにしていただきたいと思っています。

健康診断による健康管理と疾病の予防に最善を尽くし、皆様が豊かな人生を送られることに貢献出来ればと考えています。当施設の医師、スタッフが「一丸」となって健康増進に努めてまいります。

スタッフ一同、消毒、ソーシャルディスタンス、換気等コロナウイルス感染予防対策を継続し、当施設を受診されることをお待ちしております(詳細は2ページ目)。

新型コロナウイルス感染を防ぐための 予防医療センターの取り組みについて

接触感染予防のため、必要な場所に
アルコール消毒台を設置しています。

消毒しよう



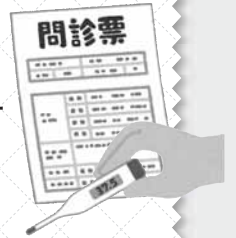
飛沫感染予防のため、マスク着用を徹底する取り組み
として、簡易な紙マスクを手作りで作成し、もしマスク
を持参されなかった受診者様にはお渡ししております。

マスクをしよう



人間ドック・健診の入り口で、体調の悪い方の受診を延期して
いただくため、検温及び問診にご協力いただいています。

問診票



具体的
には、

- ◎ 発熱、体調不良・のどの痛み・咳・味覚障害・嗅覚障害などの症状のある方
- ◎ 風邪薬を服用されている方
- ◎ 1週間以内に、37.5度以上の発熱のあった方
- ◎ 2週間以内に、新型コロナウイルスの感染者やその疑いがある方との接触歴がある方
- ◎ 2週間以内に、海外への渡航歴、及び、国内感染拡大地域に行かれた滞在歴がある方
となります。

3つの「密」が重ならないようにします。

① 密閉空間（換気の悪い密閉空間）を作りません。

開けられる部屋はすべて窓を開け、常時開けておくことが難しい部屋も頻繁に換気をしています。

② 密集場所（多くの人々が密集している）を作りません。

- ① 席の間隔を空け、ソーシャルディスタンスを確保します。
- ② 1日当たりの受診受入人数を制限したうえで、受付時間にも時間差を設けています。



▶ ソーシャルディスタンスの確保

③ 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く範囲での 会話や発声が行われる）を作りません。

- ① 飛沫感染予防のため、同意をいただいた上で肺機能検査を中止しております（6月から再開予定）。
- ② 受付・会計の際の密接を避けるため、アクリルボードを設置しました。健診部門と外来部門で会計を分離しました。
- ③ 内科ではICT技術を活用し、スマートホン・タブレットなどを用いたオンライン診療の準備を進めております。
- ④ 保健指導、産業医活動の取り組みとして、Web会議システムを導入しオンライン面談の実施に向けて準備を進めております。



▶ オンラインシステムの活用

● 日本人間ドック学会の健診施設機能評価(Ver.4.0)を ● 受審しました。

当施設の予防医療センターは令和2(2020)年2月21日に、日本人間ドック学会の健診施設機能評価を受審しました。

当センターは、前身のNTT西日本高松診療所 予防医療センタの頃の平成17(2005)年に初めて健診施設機能評価認定を受け、以降5年ごとに更新の審査を受け、今回が3回目の更新となりました。しかしながら、NTT西日本から継承し、独立法人化したオリーブ高松メディカルクリニックとしては初めての受審でしたので、組織が変わったこともあり、様々な面での見直しを行いました。

今回受審した時は新型コロナウイルス感染症の感染者数が各地で少しずつ出始めた時期でしたので、感染対策として参加スタッフやサーベイヤーの方も全員がマスクを着用するというこれまでとは異なった体制で行いました。

今回のVer.4.0は、**1.理念達成に向けた組織運営、2.受診者中心の良質な健診の実践、3.継続的な改善の取り組み**、の大きな3項目について、職員への教育や健康管理、受診者に対する医療面接・結果説明・保健指導、受診者の要望や健診結果のフォローアップ、健診データの分析・活用状況などの小項目ごとにサーベイヤーの方に見ていただきました。



▶リハーサル風景

当センターも前回の受審から5年の間にいろいろな体制づくりをしてきました。外国人や障がいのある方、子ども同伴の方などの受診が増えたこともあり、受診者が不安なく検査が受けられるように取り組んだ際には、外国人や聴力障がいの方にはそれぞれに応じたコミュニケーションカードを作成し、意思疎通の一助にしたり、トイレを広く改装して車椅子の方も入りやすくしたり、受診者のお連れの方が待機できる部屋を用意するなどスタッフで工夫をしました。

また、医療面接や保健指導も改善に取り組み、受診者情報の聞き取りや要望確認、結果説明の補足説明や生活習慣改善指導を実施するようになりました。健診後のフォローアップとしては、当施設内科のフォローアップ外来を活用していましたが、前回の「メディカル通信」でご案内した健診後の追跡も時期や手段を決めてさらにアップグレードして取り組むようにしました。

今回の受審では前回よりも健診に関わるスタッフも増えたこともあり、多くのスタッフが初めての審査経験でした。そのため時間をかけて資料を準備し、本番を想定して答弁の練習も何回か行いました。

当日は緊張感もあり、サーベイヤーの質問に上手く答えられない時には他のスタッフが助け、みんなで力をあわせてゴールした、そんな達成感を感じる一日でした。

また、サーベイヤー方のご指摘も施設の日常に慣れていて私たちには新たに気づかされた点もあり、新鮮に感じたこともありました。一方で褒めていただいた点については自分たちの取り組みに自信を持つことができ、次の取り組みへの意欲を持つことができました。



▶リハーサル風景

5月23日に更新認定を受けました。令和2(2020)年度もスタッフ全員が「One Team」になって、みなさまが次回も我々の施設でドック(健康診断)を受けたいと思っていただけるような予防医療センターづくりに励んでいきたいと思っています。